

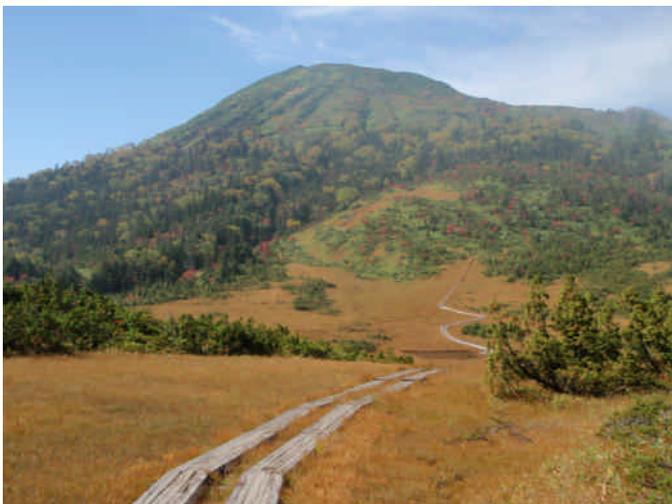


燧ヶ岳は、福島県南部に位置し東北一の高さを誇ります。最高峰である柴安岳（2,356㍍）を始め俎岳（2,346㍍）ミノブチ岳（2,234㍍）、赤ナグレ岳（2,249㍍）御池岳（2,201㍍）などのピークから成り立ち燧ヶ岳というピークはありません。

登山道は、長英新道、御池口、見晴新道などのコースがあり、一般的には登りやすさから2番目に短い長英新道が使われています。御池口は、御池駐車場から直接登ることができ、途中には広沢田代、熊沢田代等美しい湿原があり、キンコウカ、ワタスゲ等の高山植物が見られ、人気のコースです。

記録に残っている燧ヶ岳の最初の登頂者は平野長蔵とのことです。燧ヶ岳を含む尾瀬地域の年間入山者数は、平成20年度で約353千人、このうち福島側の入山者は105千人で約30%を占めます。

燧ヶ岳周辺の国有林は、下流域の只見川右岸に広がるブナ林などの原生的な森林を含め約8万㍍の広大な地域を「奥会津森林生態系保護地域」として保護しており、南会津支署では平成19年度から、入山者の多い時季の休日に森林保護員（愛称「グリーン・サポート・スタッフ」）2名が、燧ヶ岳を含む尾瀬地区を中心にパトロールを実施し、入山者にごみの持帰り、自然保護等を記載したしおりの配布等を行い指導、啓発活動を行なっています。



熊沢田代から山頂を望む



燧ヶ岳から尾瀬沼を望む



広沢田代の池塘群

また、尾瀬地域は、平成19年8月30日に尾瀬国立公園に指定されました。区域面積は、尾瀬地域25,203㍍と会津駒ヶ岳及び田代山・帝釈山周辺地域11,997㍍で計37,200㍍です。

南会津支署は、今後もこの自然豊かな森林を保全するとともに、安全で快適なレクリエーションの場として利用していただくために、森林の整備や保全のための活動を積極的に行なうこととしています。

（南会津支署広報広聴連絡官）